



第 140 号

# プラチック 中部

令和 2 年 2 月 14 日

www.chubu-pla.or.jp

一般社団法人

中部日本プラスチック製品工業協会

愛知県プラスチック成形工業組合

〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4番41号

(名古屋市工業研究所管理棟4階)

電話(052)654-8155 FAX(052)654-8140

E-mail : info@chubu-pla.or.jp

## 組合創立55周年記念式典を開催

講演会では世界経済と日本の情勢聴く

## 新年賀詞交歓会も和やかに

組合創立55周年記念式典及び令和2年新年賀詞交歓会が1月17日午後3時より、名古屋国際ホテルにおいて開催された。小川副理事長（藤和ライト工業）の開会の辞の後、物故者に対して黙とうを行い、続いてあいさつに立った井上理事長（大喜プラスチック工業所）は、「昭和39年9月に創立。55年に亘るこの間、経済・産業における幾多の危機や困難に直面しながらも乗り越えてきた。組合活動は技能検定実技試

験の委託事業を中心に展開し、昭和50年には若手経営者で組織する青年会を設立し、人材育成に力を入れてきた。今後においてもプラスチック製造業の繁栄に必要とされる業界であり続けることこそ使命と受け止め、未来に向けて進化していくことを目指したい」と述べた。



井上理事長

来賓紹介の後、別掲の功労者表彰が行われ、来賓祝辞では愛知県経済産業局産業部産業振興課・松川課長が組合の55周年に対するお祝いの言葉と共に、功労者に敬意を表し「今後も業界の発展にご尽力を」と結ばれた。

式典後の新年賀詞交歓会は、中村総務委員長（大京化学）の司会で進行され、協会大松副会長（岐阜プラスチック工業）の開会の辞に次いで、横山会長（東洋理工）が令和元年のスタートをはじめ、昨年の良き出来事を振り返り、一方プラスチック業界の課題である“海洋プラスチックごみ”に対し「組織を上げて対応して行きたい」と新年のあいさつを述べた。

来賓のあいさつでは、大村愛知県知事はじめ太田豊田市長らがあいさつ。大村知事は、愛知県を取り巻く現況に対し「足場を固めて臨みたい」。また、トヨタ自動車のテストコースにつ



記念式典



功労者表彰の諸氏ら



大村愛知県知事



太田豊田市長



横山会長



加藤連合会長の乾杯

いての進捗状況を紹介。55周年へのお祝いの言葉をおくり「引続き協会・組合共々日本の経済成長エンジンとして活動を継続していただきたい」。太田市長は、『SDGS』未来都市に指定された豊田市の取り組みなどについて紹介。その中で「プラスチックとどう向き合っていくか、情報を収集して進めていきたい」とそれぞれ述べた。

祝電が披露された後は、全日本プラスチック製品工業連合会・加藤会長の発声で乾杯し、懇親が深まる中『福引き』で盛り上がり、最後は組合井上理事長の中締めでお開きとなった。

## 組合創立55周年記念 功労者

▽愛知県知事賞 = 中村公彦 (大京化学)、福岡正喜 (名豊化成)、川西正克 (川西塗装)、足立和己 (足立ライト工業所)。  
 ▽理事長賞 = 花井敏真 (花井化成)。  
 ▽理事長感謝状 (技能検定関係) = 名機製作所、日本製鋼所、住友重機械工業、日精樹脂工業、松井製作所、中村科学工業。  
 技能検定委員 = 伊藤清治、内藤誠、平林徳三、石川裕之、瀬瀬英幸、林睦、近藤芳宣、平野正孝、岡崎活之、三宅実、福島勝仁、牧慎佳、神野芳和、須田直哉、岡本雅人、神谷浩孝、阪元正治、水野茂、杉山浩茂。(敬称略)

## 世界情勢は目まぐるしく変化

愛知淑徳大学真田幸光教授が講演

### 今年の日本経済は「少し上向く」

記念式典の前には、午後3から講師に愛知淑徳大学教授・真田幸光氏を迎え、『複雑な国際情勢を読み解く企業経営』を演題に講演会が開催された。

2020年は東京オリンピック、秋には米国大統領選挙、このほかトピックスがやまずみである。その中で米中関係、中東情勢を中心に世界情勢の根幹がどう変わるのか、その延長線上で日本経済がどう動くのかなどを聴いた。

真田講師は、今年行われる米国の大統領選で「トランプ大統領は勝つ!」と強調し、その背

# ISONO

いそのプラスチック材料

有限なる資源を限りない人生の幸福のために

いその株式会社

名古屋市東区相生町55 〒461-8630  
 TEL<052>931-1211(代)  
 FAX<052>930-1975

おかげさまで創業65年

世界の風を掴み、次世代を創造します。



## 東郷産業株式会社

取扱製品 | 自動車、電機、産業機械、船舶、航空宇宙機等の素材、特殊鋼・合金鋼、工場設備機械類の販売

〒460-0012 名古屋市中区千代田五丁目4番16号 創業保証1000012011 信用 債権保全090140012011 証券  
 TEL 052-251-5371 FAX 052-251-5381 <http://www.to-go.co.jp/>



講師の真田幸光氏

景を説いた。米中関係については、貿易摩擦の一端の改善により、安定的な面もあるが、今後は情報覇権争い、制宇権争いが懸念される。中東情勢については、高まる緊張の中でロシアとトルコがシリア安定への緊急措置を講じるなど、今後も覇権拡大を目指すロシアのプーチン大統領の動きによって左右される。

また、日本経済については「少し上向く」と予測。「但し個人消費の伸びはあまり期待できない。民間設備投資は、人手不足を背景とした自動化・省力化への動きによって少し活発化する事に期待したい」と述べた。

## プラスチックの現状と次の一手 組合創立55周年記念講演会

組合創立55周年記念事業として、記念式典に先立ち12月13日に名古屋市工業研究所との共催で『プラスチックの現状と次の一手』をテーマに、賛助会員2社から講師を招へいし記念講演会が行われた。参加者は94名であった。

ポリプラスチックス(株)からは、テクニカルソリューションセンターのグループリーダー大須

賀晴信氏を招き《EVシフトに対するエンプラメーカーの取り組み》について聴いた。特に、CASEに対する取り組みの中で、電動化、自動運転などに必要な部品の樹脂材料の高機能化を進めていると解説があった。

(株)日本油機からは、生産技術営業部長・片岡明雄氏を講師に《ベント式射出成形機の有効性及び懸念事項》について聴いた。プラスチック成形においてガス、水分の除去が成形品の品質向上、安定化に繋がるとの考えから、ベント式射出成形に拘り改良を重ねている。加えてハングリーフィードの開発によるハングリー成形法の組み合わせにより、欠点であったベントアップの解消を図ったとの解説が行われた。

なお講演会終了後は、名古屋市工業研究所の〈3Dものづくり支援センター〉を見学した。



ポリプラスチックス(株) 大須賀氏



(株)日本油機 片岡氏



**株式会社 三幸商会**

取締役社長 若尾 剛

名古屋市千種区内山三丁目3番2号 〒464-0075

TEL (052) 733-5111(代) FAX (052) 733-5141

**Sanko Shokai Co., Ltd**

3-3-2, Uchiyama, Chikusa-ku, Nagoya, Japan

TEL : (052) 733-5111 FAX : (052) 733-5141

プラスチックのお困り事に...



AICHI JITSUGYO

**愛知実業株式会社**

〒485-0041

小牧市小牧4丁目225-2 澤屋清七ビル 201号

☎ 0568-54-1680 ☎ 0568-44-1680

# 全日本プラスチック製品工業連合会 令和2年新年賀詞交歓会

1月24日午後5時より、第一ホテル東京に於いて、全日本プラスチック製品工業連合会令和2年新年賀詞交歓会が、経済産業省をはじめ業界関係団体、報道関係そして各地区協会会員など総勢74名の参加を得て盛大に開催された。当協会からは6名が参加した。

国家斉唱の後、加藤会長（神奈川）から、「昨年も一昨年に続き多くの自然災害が発生し、甚大な被害をもたらしました。また、政治経済では、米中間の貿易摩擦が続き、英国のブレグジット、日韓関係の悪化などの懸念材料があります。反面令和天皇のご即位、吉野彰氏のノーベル化学賞受賞、ラグビーワールドカップなど明るい話題もありました。また、今年には東京オリンピックが開催されます。大いに盛り上げ、景



加藤会長

気回復に期待したい」と挨拶があり、続いて来賓を代表して経済産業省製造産業局素材産業課長・吉村一元氏より「東京オリンピック後の景気下振れ懸念に対し有効な対策を取っていく。また、中小零細企業に対しても例年を上回る拡充策を用意している」と祝辞があった。



吉村一元課長

その後、祝宴に移り大野副会長（東日本）の乾杯で開宴となり、和気藹々と話が弾んだ。



横山副会長

最後に横山副会長（中部日本）の中締めで閉会となった。

賀詞交歓会に先立ち3時から理事会が開催された。その後、『改正食品衛生法について』というテーマで、（一財）化学研究評価機構の方を講師に勉強会を実施した。



理事会



改正食品衛生法の勉強会

全電動射出成形機  
**JADS**® SERIES  
すべてのお客様に最大限の安心を

すべてのお客様の問題を解決  
●Satisfaction ●Smart ●Strong ●Stable

**JSW** 株式会社 **日本製鋼所**  
●名古屋営業所 TEL.052-222-1271 ●株式会社ニップラ 名古屋営業所 TEL.0561-74-7400

スクリーンデザインが安定成形の決め手です  
**省エネ・成形不良対策 おまかせ下さい！**  
特にベント可塑化ユニットによる成形は  
原料の「乾燥レス」  
原料中の「ガス・水分・残留モノマー除去」  
金型の「メンテ周期大幅延長」など  
確実に成果を上げています

株式会社 **日本油機** 〒252-0203 神奈川県相模原市中央区東淵野辺 4-2-2

## 2019年度後期技能検定

### 学科講習会、実技試験を実施

射出成形3級実技試験は、名古屋市南区の検定会場で12月2・3・9・10日の4日間予備講習会を開催し43名が受講、12月17・19・20・23・24日の5日間実技試験を実施、51名（昨年比6名減）が受検した。試験時間が45分と短いため検定機1台で5人の試験を実施、2台で1日10人の日程で進めた。講習会受講者は予想どおり、金型取付から温調機の配管、成形条件の



3級実技試験



学科講習会

設定までの課題作業を順調にこなし、その成果が現れていた。また、成形品の寸法測定、不良の判定試験も概ね順調に作業を終了した。

射出成形3級の学科講習会は、名古屋市工業研究所で1月9日に開催し、27名が受講した。最初に模擬試験問題50問を解き、その後、中部日本プラスチック職業訓練校の林先生から解答と模擬試験問題の解説を行った。全て真偽法の問題で平均点はかなり高かった。本試験は2月9日に日本福祉大学東海キャンパスで実施された。また、特級の実技・学科試験は2月2日に愛知県立大学長久手キャンパスで実施され、合格発表は3月13日となっている。今年度は、ブロー成形作業は公示されなかった。

## 令和2年度訓練生募集中

（成形技能者養成プロジェクト）

令和2年度の訓練生を現在募集中です。皆さんの積極的な参加をお待ちしております。

### 【訓練の種類】

1. 向上訓練（通信制）〈1級・2級技能士課程〉

▽特典＝技能検定学科試験免除。

2. 養成訓練（通学制）〈普通課程〉

▽特典＝技能検定学科試験2級免除、技能検定受検資格の実務経験の短縮。

※厚生労働省

「人材開発支援助成金」を受けられます。

### 【問合せ先】

中部日本プラスチック職業訓練校事務局

TEL(052)654-8155 FAX(052)654-8140

「確かな品質 価値ある商品」  
プラスチックの矢作産業」



**矢作産業株式会社**

代表取締役 石川 勝敏

額田郡幸田町大字菱池字荒子15番地1  
TEL(0564)63-5300



プラスチック用産業合理化機器メーカー

**NAKAMURA**

**中村科学工業株式会社**

本社工場 Head office & Factory 東京支店 Tokyo branch  
〒444-0951 愛知県岡崎市北野町字高塚101 〒192-0054 東京都八王子市小門町8-37  
TEL(0564)31-2919 TEL(042)620-5466  
FAX(0564)31-9435 FAX(042)620-5461  
URL <http://www.nakamurakagaku.co.jp/>

## 職業訓練校レポート

- ① 12月6日【プラスチック概論】の授業で刈谷市の〈あいち産業科学技術総合センター〉を訪れた。実際に試験片を作成し、引張り試験、曲げ試験、衝撃試験などを行った。
- ② 12月7日【社会】の授業で、〈トヨタ産業技術記念館〉を見学した。  
提出されたレポートの一部を紹介する。

## あいち産業科学技術総合センターレポート

### ■山宗(株)：Y.I

12月6日にプラスチック概論の授業の一環として、あいち産業科学技術総合センターを見学させていただきました。その際に感じたことや、学んだことをレポートとしてまとめました。

当センターでは、私が普段から成形を行っているプラスチック製品の材料特性や、製品の機能について、所定の検査器具を用いて研究を行っているところでした。

引張試験機や、製品の内部まで見ることができるCTスキャンなど、製品の問題点を徹底的に検証できる設備が備わっており、技術的な業務を行っている私にとっては、その設備一つ一つに、興味を抱きました。

その設備を体験させていただくこともでき、私たちが普段から成形しているプラスチックという素材が、どのような特性を持っているのかということや、プラスチックを成形するうえで、発生する問題に、どのような面から考えているのかといった点を学ぶことができ、大変有意義な見学であったと感じました。

この場所では、プラスチック製品の検査を依

頼できるということを知ったので、私が養成訓練校を卒業し、プラスチック成形業務に本格的に関わるようになった時に、ぜひ利用し、業務に生かしていきたいと考えました。

### ■(株)鈴木化学工業所：C.T

12月6日(金)1日を通して刈谷市にあるあいち産業科学技術総合センターにて、射出成形実習、引張試験、曲げ試験、耐衝撃性試験、X線CTシステムの5種類について勉強しました。

当センターでは、数多くの試験設備があり、雰囲気は大学のように、研究室はかなり年季が入っていました。化学材料、金属材料、環境材料、自動車・機械技術室の4分野について企業からの依頼により分析、測定を行っています。私は高校の時、刈谷市まで通っておりましたが、こういう施設があることは知りませんでした。

まず私たちは射出成形の実習で、ダンベルと呼ばれる重さ24gの試験片を、成形機に自由に数値を入れて成形しなさいという課題を出されました。今までの検定実習は違う製品を1から作成することは難しく、6人で話し合いながら、なんとか作成することができました。しかし、できたものには曇りが出て、これでは良品になりません。さて、どの数値を変えればその曇りは消えるのか?答えは射出速度でした。今まで私たちは120～160の射出速度に設定し成形してきましたが、それでは速すぎると思い、下げながら確認すると、やっと50ぐらいで曇りがなくなってきました。曇りというのはPEからPSへのパーズが足りないと出てしまうという印象が強かったため、射出速度も関係していると初めてわかりました。また、PPを成形したのも

一生涯のパートナー

第一生命

 Dai-ichi Life Group

第一生命保険株式会社

ホームページ

<https://www.dai-ichi-life.co.jp/>

成形工場の見える化/IoT化の実現!

生産管理システムのことならお任せください

 Muratec ムラテック情報システム株式会社

〒612-8686 京都市伏見区竹田向代町136  
TEL:075-672-8257 FAX:075-672-8307  
<http://www.muratec.jp/mis/>

会社以外では初めてだったのでいい経験になりました。

ダンベルの良品が出来上がると、それを用いて引張試験、曲げ試験、耐衝撃性試験を行いました。引張試験では、ゆっくり伸ばす（分速100mm）と、1メートル以上も伸び、想像以上に伸びました。逆に速く伸ばす（分速800mm）と20センチぐらいですぐに切れてしまいました。

耐衝撃性試験では、ハンマーをふり下ろしても、製品は真っ二つには割れず、強度が十分にあることが確認できました。1つ何故か真っ二つになってしまったのですが、材料の違う製品が紛れ込んでいたのでしょうか？結局わからずに終わってしまいました。

最後のCTでは財布の中身をCTに写しました。本当は人間を見てみたかったのですが、人間向きの機械ではないそうです。頂いた資料のX線検査装置に入った人の写真がとても面白くて印象に残りました。

1日を通して、みんなで協力しながら学習できたことがとても面白くて良かったです。

#### ■山宗(株)：M.S

刈谷市にあるあいち産業科学技術総合センターに見学へ行きました。

産業技術センターでは、プラスチックに関する開発、生産現場における技術的問題、不良や破損・故障の原因解析だけでなく、機械、金属、木材など幅広い業界を対象として、ものづくりにおける技術的相談、研究、試験を行っていました。今回の見学では、まずJISに基づいた試験片を射出成形機にて成形を行いました。不良の出ない成形条件を探しながら成形を行いまし



あいち産業科学技術総合センター担当者より説明を聞きました。成形した試験片を用いて引っ張り試験、シャルピー衝撃試験、曲げ試験を行いました。引っ張り試験では同じ原料の試験片でも引っ張る速度の違いで強度の変化があることが分かりました。

また、普段使用している樹脂材料の特性、グレードがこのような試験によって定量化されているのが分かりました。

次に、X線CTを用いた非破壊内部観察装置を見学しました。目に見えない内部の状態がどのようなになっているのか知りたい場合に使われるそうで、射出成形品では、内部にボイドや異物がないかを調べることができるのではないかと感じました。

また、同施設には、非接触の3次元測定機があるそうなので、プローブの入らない場所を測定したい場合などに応用できると感じました。今回の見学をとおして、物性試験を実際に体験することにより製品の分析評価に対する理解が深まりました。



三井住友信託銀行

名古屋営業部 TEL.052-242-7311  
〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目15番33号 栄ガスビル



第一実業株式会社  
DAIICHI JITSUGYO CO., LTD.

本社 〒101-8222 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地  
(御茶ノ水ソラシティ) TEL03-6370-8600 (代)

大阪支社 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島3丁目6番32号  
(ダイビル本館) TEL06-4967-3000

名古屋支社 〒460-003 愛知県名古屋市中区錦2丁目3番4号  
(名古屋フロントタワー) TEL052-201-5471

URL: <http://www.djk.co.jp>

## トヨタ産業技術記念館見学レポート

### ■(株)西浦化学：N.W

今回は社会見学でトヨタ産業技術記念館に行きました。

豊田自動織機製作所栄生工場を産業遺産として保存しながら、近代日本の発展を支えた基幹産業の一つである繊維機械と、現代を開拓し続ける自動車の技術の変遷を通して「研究と創造の精神」と「モノづくり」の大切さを学ぶ事が出来る施設です。

まず初めに繊維機械館に入りました。ここでは、後のトヨタ自動車創設者豊田喜一郎の父、豊田佐吉の発明した繊維機械が多くありました。数ある中で私は1924年に完成させた世界最高性能の無停止杆換式豊田自動織機に感動しました。それまでの人力ではなく、機械だけで動かす事は出来ないかと考え、天井にベルトを取り付け連動させサイクルを早くし、更にシューターを活用し自動芯替え出来ると言ったものです。何度も失敗を繰り返し、努力していく姿に自分も見習いたいと思いました。

次に自動車館に入りました。1つの事から改良を繰り返し、自動車を完成させ、現在のトヨタ自動車までの道程を見る事が出来ました。トヨタ生産方式でジャストインタイムという効率的に早く自動車を製造し、お客様の元へと届けるという考え方に驚きました。かんぱんによる後工程引取りと、後補充生産、流れによる生産と小ロット生産、タクトタイムによる生産、自動化による良品だけの生産と言った考えで必要な事だけを考え無駄の無い作業が出来ており、素晴らしいと感じました。

見学を通して失敗しても諦めずにより良いものを作ろうと努力していく姿勢を学びました。努力し続けるという事はとても難しいのですが、今回学んだ事を活かし、私もこの先更なる向上の為、日々努力して参ります。

### ■(株)タイセイプラス：S.M

12月7日、社会の授業でトヨタ産業技術記念館へ見学に行きました。そこではトヨタ自動車の歴史と自動車事業前の織物事業における豊田佐吉の発明についての説明をガイドの方から受けました。

織機の歴史が展示されている繊維機械館ではまず繊維の種類が展示されていました。今では服にポリエステルといった化学繊維が使用されていますが、昔は絹、羊毛、麻等の天然の材料が使用され展示されていました。次にガイドの方が糸の性質を利用した糸紡ぎ作業を実演していました。

次に機織り作業を機械化していく歴史を学びました。まず木製の機織り機の糸巻きを工夫し人が糸巻きを使って糸引きをしなくても自動で糸巻きが動き織られる仕組みが作られより簡単になりました。木製から蒸気で動く機織り機に移行し、豊田佐吉はより多くの機械を少ない人で動かすことができないかということを考え、糸巻きを改善してより簡単に機械にセットできるようにしたり、糸が切れたら機械を止める仕組みを作り作業者が何台もの機械を見ることができ、より生産性向上につながったとの説明を受けました。

最後に現在では水の力やコンピューターを用いた織機を見学し、糸を編み込んでいく作業に

### 未来素材をオーダーメイド

エンブラのトータルサプライヤーKASAGI


 **笠置産業株式会社**

本社：名古屋市東区泉一丁目17番24号 〒461-0001  
TEL(052)962-9500 FAX(052)972-7986  
営業所：浜松・豊川・諏訪 工場：豊川

### 技術とハートがスパークする

**ドラマチック創造企業**

プラスチック、セラミックス、MIM金型

 **株式会社 三洋製作所**

本社工場 名古屋市緑区鳴海町下汐田183番地

TEL052-621-5238 FAX052-621-3501



歴史を感じました。

今回の見学で、豊田佐吉の発明の実物を交えて見ることが出来、参考になりました。今のトヨタ自動車の前身である織機事業がなぜ発展できたのかを学びました。豊田佐吉の発明によって当時の作業をより簡単にする事で効率的なものづくりを進められたと思いました。今後の業務に役に立てて行きたいです。

.....

### ■(株)鈴木化学工業所：K.K

12月7日に、トヨタ産業技術記念館を見学しました。

この施設は、大きく分けて二つの施設があります。一つは繊維機械館で、糸を紡ぎ布を織る技術の移り変わりを見ることができ、もう一つの自動車館では、自動車の仕組みと開発・生産技術の移り変わりを見ることができます。そして、この記念館はもともと、豊田自動織布工場として設立され、豊田自動紡織工場、豊田紡織(株)本社工場、中央紡績(株)、(株)豊田自動織機製作所栄生工場、以上の流れを経て、産業技術記念館になりました。

館内で一番印象に残ったのが自動車館に掲載してあったトヨタ生産方式です。トヨタ生産方式は良い車を早くお客様にお届けすることを主軸に改善を積み重ねて確立してきた、トヨタ独自の効率的な作り方であり、停滞をなくして流れを作るのを基本としています。そして、トヨタ生産方式はジャスト・イン・タイムと自動化により成り立っており、異常が発生した場合、機械が直ちに停止して不良品を作り続けないという考え方で、各工程が必要なものだけを流れるように停滞なく生産する考え方によって、良



G型自動織機について熱心に聞く訓練生

い製品だけを短いリードタイムでお客様にお届けすることを可能とするのです。

また、ジャスト・イン・タイムの実現は、お客様から車の注文を受けたら、なるべく早く自動車生産ラインの先頭に生産指示を出してから着工し、組み立てラインは、どのような注文がきても対応できるように、全ての種類の部品を少しずつ確保しておき、使用した部品を使用した分だけ、その部品を作る工程に引き取りに行き、前工程では、全ての部品を少しずつ確保しておき、後工程に引き取られた分だけ生産することによって実現可能となるのです。

このトヨタ生産方式は全生産部門による徹底的な実践を通して確立されてきたのであり、現在もその進化に向けて改善が続けられているのです。

トヨタ生産方式自体は耳にする機会は多かったのですが、どのような生産方式なのかは理解できていなかったもので、実際にトヨタの歴史を見て、その上でトヨタ生産方式を知ることができたので、とても良い勉強になりました。

**プラスチック表面処理の  
一貫生産が可能！**

金型製作から成形、めっき、ASSYまでお任せください！

成形・めっき・蒸着・塗装・組立等  
プラスチック表面処理の一貫生産メーカー

**東洋理工株式会社**

〒444-1193 愛知県安城市藤井町南山178番地  
TEL: 0566-99-0851(代表) FAX: 0566-99-1355  
URL: <http://www.toyoriko.co.jp/>

取出用ロボット・FAシステムの総合開発

**STAR**  
Quality First

株式会社スター精機  
名古屋支店

〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133

TEL **0587(95)7557** FAX **0587(96)1291**

浜松営業所 TEL 053(432)6131 高山営業所 TEL 076(492)3260  
静岡出張所 TEL 054(289)2241

本社・工場 / 〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133 TEL 0587(95)7551(代)  
出雲工場 / 〒699-0631 鳥取県出雲市斐川町直江3538 TEL 0853(72)4311

<http://www.starseiki.com>

## 養成訓練技能照査(学科・実技)

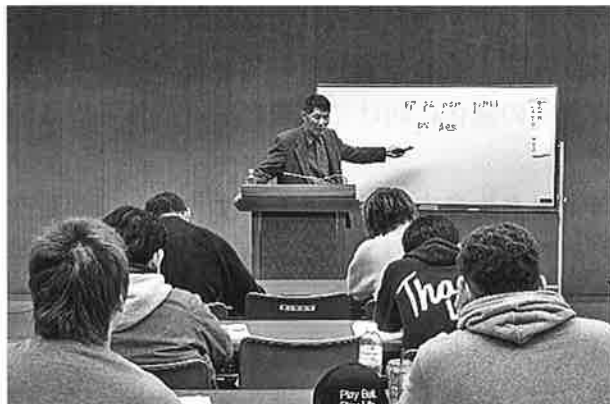
養成訓練(通学制)の技能照査が、1月31日と2月7日の2日間実施された。学科と実技6名全員が合格した。



技能照査(実技)

## 向上訓練スクーリング・修了試験

向上訓練(通信制)のスクーリングが、2月1日、2日と8日、9日の4日間(名古屋市工業研究所)で実施された。1級8名、2級23名が、午前9時30分から午後4時30分まで8科目7名の講師より直接指導を受けた。最終日の午後には修了試験が行われた。



スクーリングを受ける受講生

## 危機管理への対処を研修テーマに

## 初田製作所を訪問

### —指導員研修報告—

令和最初の師走、5～6日にかけて今年度の指導員研修に行ってきた。

参加者：指導員5人、事務局2人。

今年の研修テーマは、『危機管理にどう対処するか』・火災・地震・風水害の自然災害リスク、人的リスク・情報リスクの面から、訪問先を検討した結果、我々の業界で近年急増している工場火災に対するリスクに強い初田製作所を訪問することになりました。

初田製作所は、今年協会の賛助会員にも入会され火災リスク管理に精通されていますので、指導員として、星崎検定会場の検定と実習又浅間町職業訓練会館の講義会場での受講者、訓練生を“火災からどう守るか、消火設備をどう使いこなすか”を学んで来ました。

### 【初田製作所 概要】

所在地：大阪府枚方市

創業：1902年(明治35年)

事業内容：消火器、消火設備に特化した企業

工場は中国：寧波、ベトナムで生産し、グローバルな消火器販売を展開されています。

国内では、特殊消火器、消火設備の設計・施工・火災リスク診断を展開されています。

冒頭・営業本部長より、火災現況と初期消火の対応について説明をされ、人的損失・経済損失。更には、損害保険、消防法の改正についても、きめ細かな説明を受けました。

**PLASTICS WORLD**  
**YAMASO**

**山宗株式会社**

本社 名古屋市北区大曾根1-6-28 〒462-0825  
TEL(052)913-6131 FAX(052)913-6138  
東京支店・静岡本社・福井本社・香港・上海

営業所 岐阜・三重・豊橋・松本・甲府・埼玉・西東京  
茨城・浜松・沼津・金沢・富山・大分・京浜・京滋

**NEX-IV**

大きな金型。小さな成形機。

— 新型 電気式高性能射出成形機 —

■ 関西営業所 / TEL(0568)75-9555(代)  
〒485-0039 愛知県小牧市外堀2-167

■ 岡崎出張所 / TEL(0564)52-1430

■ 三浦出張所 / TEL(059)272-4065

■ 静岡出張所 / TEL(054)655-5656

■ 浜松出張所 / TEL(053)423-0205

**NISSEI** 射出成形機・金型・成形支援システム  
**日精樹脂工業株式会社**  
<http://www.nisseijushi.co.jp>

■ 本社・工場 / 〒389-0693 長野県埴科郡坂城町  
南条2110 TEL(0268)81-1050

次に、訪問先企業の消火の歴史がわかる〈ビックスギャラリー〉のホールに移動し、初田製作所が生産した消火器、消火設備の説明を受けました。

このホールで説明を受けた中で“消火器はなぜ赤いのか”“なぜ部屋の隅にあるか”“いざ使う手順はどうするか”等……日々の生活に追われて忘れがちなことを【気が付く場所】でした。

最近の消火器は『軽い・目立つ・素早く操作』を追求し、開発されていると説明を受けました。

最後は、実際の火災に対する各種消火器・消火設備の実習です。場所は〈実消館〉で行いました。

先方の指導員と我々指導員が粉末消火器・泡消火器、屋内消火栓、スプリンクラーの実践訓練をしました。

この実践訓練で得たこと《火炎は30cmまでで消す、一人でなく声出し多くの人の助けを得る》《消火する人・消防署通報する人・避難指示する人 等 人と人の連携を密にする》……

日頃から、訓練をしておかないといけない事を痛烈に感じました。

……日頃から“心構え・知識・技量”があれば、



実消館での消火体験



初田製作所 実消館前にて

消火器で対処できるが、何をどうすればよいか迷いがあると、瞬時に火災は拡大する……【ぼや】で終わって良かったですね。……これが一番です。

15時で初田製作所の関係者の見送りで、亀岡市湯ノ花温泉で宿泊しました。

翌日は、丹波特有のくもり空で、京都市西京にある〈鈴蟲寺・正式名：華嚴寺〉

ここは、年中《鈴蟲が講堂で鳴き、鳴き声聞いて講堂内から、四季に変化する木々、庭のこけを眺めて、心穏やかに過ごす寺として有名》更にここ数年で人気が増えたのが『鈴蟲説法』桂住職が、話術巧みに人と人のつながり、生き方、仏とこの世など、参詣者の世代に合わせて講話され、その間も『虫箱の中の7000匹余の鈴蟲が鳴く』説法と鈴蟲鳴き声……現世を忘れ、心穏やかになる時間でした。

本尊のわらじを履いた《地藏菩薩》に、願いを託し寺を後にしました。その後〈松尾大社・嵐山〉の紅葉を観て帰途につきました。

記：浅井 照光

## 株式会社ユーシン精機

**YUSHIN**

### 本社・工場

〒601-8205 京都市南区久世殿城町 555 番地  
TEL : 075-933-9555 FAX : 075-934-4033

### 中部統括営業所

〒442-0809 愛知県豊川市大橋町 2 丁目 62 番地  
TEL : 0533-89-2021 FAX : 0533-89-2020

### 名古屋西営業所

〒511-0065 三重県桑名市中央町 21 番 9 号  
TEL : 0594-24-9500 FAX : 0594-24-9505

### 静岡営業所

〒422-8035 静岡市駿河区宮竹 1 丁目 19 番 10 号  
TEL : 054-238-2848 FAX : 054-238-2847

工業薬品・合成樹脂・食品添加物・包装材料

## 睦物産株式会社

〒450-0002

本社：名古屋市中村区名駅5丁目23番5号  
TEL 052-571-5121(代) FAX 052-565-0346

支店：東京・大阪

## 日機装と金沢建築館を見学

石川県で中部地区業界団体懇談会を開催

11月21日に今年で10回目となる中部地区業界団体懇談会が石川県で開催された。

今回、中部からは正会員5名、事務局1名の計6名が参加した。

参加者は午後1時JR金沢駅に現地集合、岐阜、石川、富山各県の協会からは計22名がバスに合流し、一行は企業視察として13時30分日機装(株)金沢製作所に到着した。

日機装は1953年に創業、1960年に日本初の人工心臓を東京大学に提供し、医療精密機器のトップメーカーとして事業を拡大した。1968年商号を日機装に変更し、特殊なポンプや血液透析装置、複合材の製造、販売を行なっている。金沢製作所は1995年に完成し、精密機器事業に加え航空宇宙事業も手掛けている。

最初にメディカル工場長の泉氏より会社の概要、精密機器事業、航空宇宙事業などパワーポイントによる説明があった。その後2班に分かれメディカル工場の見学をした。オーダーごとに医療機器の製作工程がいくつもあり、参加者は広大な部品棚エリアと部品点数の多さに驚いた。見学後は活発に質疑応答もあった。受付玄関前で集合写真の後、15時頃金沢製作所内にある宗桂会館を訪れた。ここには加賀象嵌という、金属素地をたがねで彫り下げ、そこに別の金属を嵌めて打ち込む文様表現を行う技法で創作された金工が紹介されていて、武士が使用する装剣金具や馬具の鐙など装飾性豊かな作品が多数展示されていた。

日機装と宗桂会館を見学後、一行のバスは16時過ぎ金沢建築館に到着した。ここは建築家・谷口吉郎が設計した数々の建物、施設の説明・功績が写真とともに展示されていた。主な建築物は慶應義塾の幼稚舎や日吉寄宿舍・学生ホールをはじめ、東宮御所(現・赤坂御所)、千鳥ヶ淵戦没者墓苑、帝国劇場などで、谷口建築の奥深さに誰もが感心していた。

金沢建築館を見学後、一行は徒歩にて懇談会

が行われる「つば甚」に到着した。「つば甚」は創業270年の歴史を有し、部屋ごとに異なる歴史と由緒が堪能でき、松尾芭蕉が句会を催し、伊藤博文や山下清画伯も訪れた金沢で最も古く格式高い老舗料亭である。



日機装で参加者記念撮影



つば甚で懇談会

最初に石川県労働企画課の渡辺課長より同一労働・同一賃金のポイントと技能実習生受入れの動向について研修会が開かれた。次に懇談会では各県組合の現況について意見交換が行われた。愛知県からは井上理事長が創立55周年の記念事業と技能検定実技試験の受託事業について説明をした。続いて岐阜県は杉山副理事長から成形機操作の講習会を実施するものの、廃業や後継者不足が深刻であるという報告があった。そして富山県からは八十島会長が設立から57年目を迎え金型セミナーや押出成形の金型設定講習など実務的な事業が継続されている事を強調した。最後に石川県から高瀬理事が技能検定事業や従業員表彰の行事があり、来年50周年を迎えるという報告があった。

意見交換の後、課題として働き方改革の対応に困難や矛盾が生じていることや、後継者問題、材料費高や景況感の悪化など各県の組合内で直面している問題に共通点が多く見受けられた。活発な意見のなか部屋を移動し、18時30分より交流懇親会が開催された。

石川県の馬場理事長より挨拶と乾杯の発声があり、1年ぶりに再会する他県の各理事と美味しい料理に舌鼓を打ちながらの歓談で大いに盛り上がり、多数の参加者が20時30分から二次会にも参加をし、県の枠をこえ交流が深まり、盛況のなか懇談会は終了した。

## 青年経営者研究会事業

### JPO合同勉強会に参加して

レポート 有限会社ヒット 花井 駿

私がこの勉強会に参加しようと決めた経緯として、三菱ケミカルホールディングスの〈KAITEKI SQUARE〉の見学、日本ポリプロ株式会社の話に興味があったのはもちろんであるが、まだまだ未熟な身として、プラスチックという素材についてもっと知りたい、そして拠点である地域は異なるが、同業種であり同じ志をもつ東日本の会員の方々と意見を交わしてみたいという思いがあり、今回の参加に至った。

〈KAITEKI SQUARE〉の見学では多様な技術を見るのと同時に、“人類のこれから”の未来について考えることができた。普段生産活動を行っているだけでは忘れがちな、消費者に届く形となった製品もいくつか展示されており、このプラスチックで作られた製品群が生産者、消費者の幸せ、そして環境に考慮し互いに共存し合えるように微力ながら貢献していこうと感じることが出来た。また、近年何かと話題のマイクロプラスチックを含め、環境問題についても触れる機会もあった。我々は当事者であるため現状を真摯に受け止める必要があるが、同時にただ悲観するだけでなく、“人類の発展”“社会としての在り方”“地球環境の保護”などを全て織り込んだ上で、技術の発展と共に歩いていく当事者意識が深まった。これを機に、従業員ともプラスチック製品を作るということについての意見交換を交わしてみたい。

日本ポリプロの講義ではプラスチック業界と



して、ヨーロッパ、アジアを含めたグローバルな話を聞けたと同時に、PPという素材についての知見を深めることができた。自動車部品の射出成形を主力事業として行う弊社にとってもPPは非常に身近な素材なので、その素材自体はもちろん、それに影響を与える石油化学産業についてのお話は大変貴重であった。昨今の中東問題、北米のシェール革命、加えてヨーロッパや隣国の中国の動向など、考慮しなければならない点が多々あるが、複雑化するグローバル環境において、いつでも柔軟な対応ができるようにしておくことが我々中小企業にこそ重要だと個人的には感じた。

また、懇親会では東日本の方々との交流により、地域によって異なっている情報を交換しつつ、業界のこと、会社のこと等、どの地域でも共通の課題や悩みについても話すことができ、とても有意義な時間を過ごすことが出来た。

参加者は、会社の経営または基幹業務の管理者ばかりなので、今まであまり相談する機会がなかったことまで、具体的に話できたことが印象深い。例えば、私は社歴がまだ浅く、弊社の代表も現役仕事をしているので、【株式の譲渡】や【現場従業員、管理者と軋轢なく歩むこと】について先輩方の実体験に基づいた意見を聞くことができた。会社を営んでいく上で理屈だけでは解決しないこともあるので、実際に体験した先輩方の話は大変参考になり、《失敗を回避する》という観点として今後大いに役立つと思われる。

終わりに、様々なことを学ばせていただいた非常に濃密な一日であり、同時にこれから自身としてどう思考し、行動していかなければならないかを考えさせられる重要な一日でもあった。



プラスチック原料販売及着色加工

**永興物産株式会社**

本社 〒491-0828

愛知県一宮市伝法寺一丁目9番地8

TEL 0586-77-4033

FAX 0586-77-0814

http://eikoubussan.jp



## 《2019年10～12月期会員景況感調査報告(全国版)》

総回答数 234 社

### 1. 地域別内訳(事業の中心をおいている地域)

東日本	62 社	神奈川県	25 社	中部日本	59 社	西日本	88 社
-----	------	------	------	------	------	-----	------

### 2. 売上(または取扱)商品の中で最もウエイトの高いものの内訳

日用品・雑貨類	23 社	包装用容器・キャップ	33 社	電気・電子・通信部品	42 社
自動車・輸送機器部品	84 社	住宅関連	7 社	医療機器	7 社
				その他	35 社

### 3. 従業員数の内訳

20人未満	46 社	21～50人	59 社	51～100人	52 社	101～300人	53 社	301人以上	20 社
-------	------	--------	------	---------	------	----------	------	--------	------

### 4. 今期(2019年10～12月期)の自社業況について(%)〈網掛けの数字は前期の結果です〉

	2019年10～12月期(実績)											
	前期(2019年7～9月期)比						前年同期(2018年10～12月)比					
	1.増加(↑)		2.横這(↓)		3.減少(→)		1.増加(↓)		2.横這(↑)		3.減少(↑)	
①生産・売上高	19.2	17.8	42.3	44.9	38.0	37.4	16.2	28.0	31.6	29.9	51.7	41.1
②製品単価	3.4	5.1	86.3	85.5	10.3	9.3	10.3	10.3	76.1	74.8	13.7	14.0
③採算	7.7	11.2	58.5	57.0	33.3	31.3	13.2	16.8	44.9	49.1	41.5	33.2
④所定外労働時間	9.8	13.1	62.4	59.8	27.4	26.6	8.5	15.4	50.0	52.3	41.5	30.8
⑤製品在庫	15.8	13.6	61.5	66.4	22.6	20.1	14.1	14.0	56.8	64.5	28.6	20.6
⑥樹脂原料単価	16.7	18.7	75.2	74.8	8.1	6.5	23.9	27.6	64.5	61.7	11.5	9.8
⑦総合判断	8.5	7.9	53.4	58.4	37.2	32.7	13.2	16.8	39.7	45.3	46.6	36.9
⑧来期の見通し	6.8	11.7	57.3	57.0	35.0	29.9						

### 5. 当面の経営上の問題点(%)〈右の数字は前回の結果です〉

1. 売上不振	47.9	42.1	2. 輸出不振	3.0	2.3	3. 製品単価安	27.8	28.5	4. 取引条件悪化	3.0	3.7	5. 過当競争	9.8	9.3	6. 輸入品との競合	3.4	3.7
7. 流通経費増大	15.0	16.8	8. 原材料高	19.7	25.7	9. 借入負担増	6.8	5.6	10. 銀行貸し渋り	0.9	0.5	11. 人件費高	39.7	38.8	12. 採用難	34.6	36.0
13. 技能者不足	31.2	34.6	14. 技術力不足	15.8	15.9	15. マーケティング力不足	7.3	7.9	16. 設備過剰	1.3	1.4	17. 法的規制	7.7	4.7	18. 為替問題	1.7	2.3
19. 環境問題	5.1	1.4	20. 人材育成	38.5	42.1	21. 研究開発	6.0	7.0	22. 事業承継	6.8	9.8	23. その他	3.0	1.9			

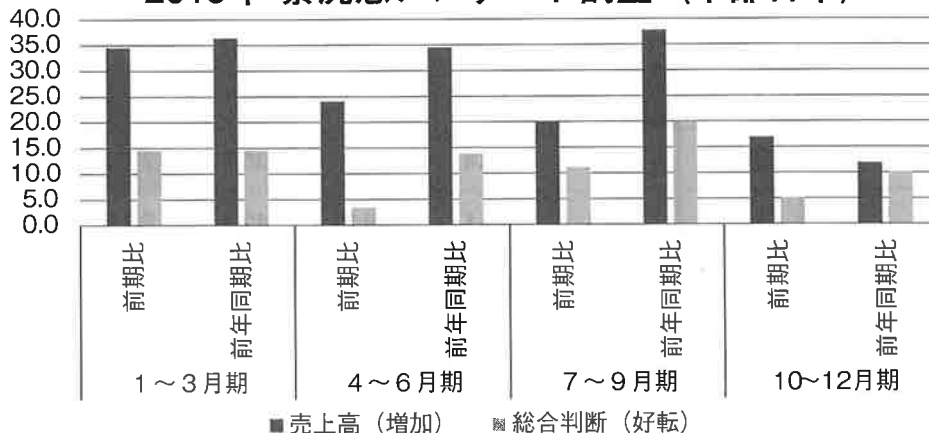
## 5-2.当面の経営上の問題点におけるその他の意見

- ・台風19号被災による工場停止
- ・設備の老朽化
- ・全体的に余り宜しい状況とはいえません
- ・先行き不透明
- ・アメリカと中国の景気変動による
- ・若い営業マンがいればもっと売れるが若手の人不足
- ・設備が老朽化しているが、投資を迷っている

### ○その他の意見がありましたら具体的にお書き下さい

- ・人材難で外国人派遣もしていますが、ベトナム人の実習生に切り替えていく事にしました。
- ・人不足を痛感しています。若い人を繰り返し採用し続ける課題。脱プラに対してプラ工業会での姿勢が知りたい。
- ・新製品の開発中であるが試作等の設計製品化の専門メーカーの情報を有するようでしたらご指導を仰ぎ、特に自動化について指導支援をお願いしたい。
- ・令和2年1月期より新規顧客が増えれば好転する可能性があります。見込みはあります。
- ・米イラン状況で、材料に影響あり。米中関係が徐々に改善されれば少し明るい。
- ・原材料高に加え、荷造り運賃の値上げ。負担増はきついところです。
- ・オリンピックが終了するとさらに悪くなる
- ・機械の老朽化により入れ替えの予定です。補助金などの情報があれば教えて下さい
- ・どこまで受注が減少するか非常に不安です
- ・人材確保

2019年 景況感アンケート調査 〈中部日本〉



TOYO  
**Customer's Value Up**  
 ～お客さまの商品価値向上をめざす～  
**東洋機械金属株式会社** 電動サーボ射出成形機  
<http://www.toyo-mm.co.jp>  
 中部支店：〒465-0051 愛知県名古屋市長区社が丘1-1202  
 TEL.052-704-4500 FAX.052-704-3980

粉粒体用機器&システム  
**KAWATA**  
**問題解決に向かって共に歩む**  
**株式会社 カワタ** www.kawata.cc  
 名古屋営業所 〒461-0021 名古屋市東区大曾根1丁目2番22号  
 TEL.052-918-7510 FAX.052-911-3450

## 各分類ごとの経営上の問題点 (2019年10～11月期)

1. 数字はすべて前期比で、単純平均%で表示しております

2. 傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

	全 体	製 品 別						
		自動車	日用品・ 雑貨類	容器包装・ キャップ	電気・電子・ 通信部品	住宅関連	医療機器	その他
売上不振	<b>47.9</b>	51.2	60.9	30.3	50.0	14.3	71.4	51.4
輸出不振	<b>3.0</b>	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.6
製品・請負単価安	<b>27.8</b>	27.4	34.8	24.2	35.7	42.9	14.3	22.9
取引条件悪化	<b>3.0</b>	1.2	0.0	12.1	2.4	0.0	0.0	2.9
過当競争	<b>9.8</b>	9.5	13.0	6.1	9.5	0.0	42.9	2.9
輸入品との競合	<b>3.4</b>	0.0	17.4	3.0	4.8	14.3	0.0	2.9
流通経費増大	<b>15.0</b>	8.3	17.4	33.3	11.9	28.6	0.0	17.1
原材料高	<b>19.7</b>	14.3	30.4	18.2	26.2	28.6	14.3	17.1
借入負担増	<b>6.8</b>	7.1	4.3	9.1	9.5	0.0	0.0	5.7
銀行の貸し渋り	<b>0.9</b>	0.0	0.0	0.0	2.4	14.3	0.0	0.0
人件費高	<b>39.7</b>	50.0	43.5	33.3	38.1	57.1	28.6	20.0
採用難	<b>34.6</b>	34.5	30.4	42.4	35.7	71.4	42.9	20.0
技能者不足	<b>31.2</b>	32.1	26.1	24.2	42.9	28.6	28.6	25.7
技術力不足	<b>15.8</b>	14.3	17.4	18.2	21.4	0.0	0.0	14.3
マーケティング力不足	<b>7.3</b>	4.8	13.0	15.2	2.4	0.0	0.0	11.4
設備過剰	<b>1.3</b>	2.4	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
法的規制	<b>7.7</b>	3.6	17.4	6.1	11.9	0.0	28.6	8.6
為替問題	<b>1.7</b>	2.4	4.3	3.0	0.0	0.0	0.0	2.9
環境問題	<b>5.1</b>	0.0	8.7	12.1	4.8	14.3	0.0	11.4
人材育成	<b>38.5</b>	47.6	30.4	33.3	40.5	14.3	57.1	28.6
研究開発	<b>6.0</b>	3.6	17.4	3.0	11.9	14.3	14.3	0.0
事業承継	<b>6.8</b>	9.5	17.4	3.0	4.8	0.0	0.0	5.7



# 各分類ごとの業況判断 (2019年10～12月期) (前期比・前年同期比)

1. 数字は単純平均%で表示しております

	製 品 別																								
	団 体 別						製 品 別																		
	全 体		中 部 日 本		東 日 本		神 奈 川 県		西 日 本		自 動 車		日 雑 貨 類		容 器 包 装		電 気 ・ 電 子		住 宅 関 連		医 療 機 器		そ の 他		
前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比
生産高 売上高	増加	19.2	16.2	16.9	11.9	19.4	19.4	12.0	20.0	22.7	15.9	10.7	9.5	17.4	13.0	27.3	18.2	35.7	28.6	57.1	42.9	0.0	0.0	11.4	17.1
	横這	42.3	31.6	40.7	40.7	38.7	21.0	52.0	24.0	43.2	35.2	46.4	39.3	39.1	34.8	42.4	24.2	33.3	28.6	28.6	0.0	71.4	28.6	40.0	25.7
	減少	38.0	51.7	42.4	47.5	41.9	59.7	36.0	56.0	33.0	47.7	42.9	51.2	43.5	52.2	30.3	57.6	31.0	42.9	0.0	42.9	28.6	71.4	48.6	57.1
製品単価	上昇	3.4	10.3	3.4	5.1	6.5	14.5	4.0	4.0	1.1	12.5	1.2	4.8	4.3	13.0	6.1	21.2	4.8	9.5	0.0	14.3	0.0	0.0	5.7	14.3
	不変	86.3	76.1	83.1	79.7	83.9	72.6	88.0	84.0	89.8	73.9	86.9	76.2	87.0	78.3	84.8	72.7	90.5	85.7	71.4	57.1	100.0	85.7	82.9	68.6
	下降	10.3	13.7	13.6	15.3	9.7	12.9	8.0	12.0	9.1	13.6	11.9	19.0	8.7	8.7	9.1	6.1	4.8	4.8	28.6	28.6	0.0	14.3	11.4	17.1
採 算	好転	7.7	13.2	1.7	8.5	11.3	9.7	4.0	16.0	10.2	18.2	4.8	7.1	4.3	4.3	15.2	30.3	11.9	14.3	28.6	28.6	0.0	0.0	2.9	14.3
	横這	58.5	44.9	57.6	54.2	51.6	35.5	76.0	48.0	59.1	44.3	56.0	46.4	47.8	39.1	57.6	33.3	64.3	57.1	57.1	42.9	100.0	57.1	57.1	42.9
	悪化	33.3	41.5	40.7	37.3	37.1	54.8	20.0	36.0	29.5	36.4	39.3	46.4	47.8	56.5	27.3	36.4	23.8	28.6	0.0	14.3	0.0	42.9	40.0	42.9
所定外 労働時間	増加	9.8	8.5	5.1	6.8	8.1	8.1	0.0	8.0	17.0	10.2	6.0	6.0	13.0	4.3	9.1	9.1	19.0	11.9	0.0	28.6	0.0	14.3	8.6	8.6
	横這	62.4	50.0	52.5	49.2	62.9	53.2	72.0	56.0	65.9	46.6	56.0	44.0	60.9	47.8	75.8	72.7	54.8	47.6	85.7	42.9	71.4	57.1	68.6	48.6
	減少	27.4	41.5	40.7	44.1	29.0	38.7	28.0	36.0	17.0	43.2	36.9	50.0	26.1	47.8	15.2	18.2	26.2	40.5	14.3	28.6	28.6	28.6	22.9	42.9
製品在庫	増加	15.8	14.1	13.6	8.5	19.4	24.2	4.0	4.0	18.2	13.6	13.1	11.9	39.1	26.1	12.1	15.2	9.5	4.8	28.6	14.3	0.0	28.6	17.1	17.1
	横這	61.5	56.8	62.7	59.3	58.1	45.2	68.0	56.0	61.4	63.6	67.9	59.5	39.1	43.5	51.5	51.5	66.7	64.3	57.1	57.1	71.4	14.3	62.9	62.9
	減少	22.6	28.6	23.7	32.2	22.6	30.6	28.0	40.0	20.5	21.6	19.0	28.6	21.7	26.1	36.4	33.3	23.8	31.0	14.3	28.6	28.6	57.1	20.0	20.0
材 料 調達単価	上昇	16.7	23.9	13.6	15.3	16.1	30.6	28.0	32.0	15.9	22.7	11.9	19.0	21.7	34.8	12.1	12.1	26.2	35.7	14.3	14.3	14.3	28.6	17.1	25.7
	横這	75.2	64.5	83.1	79.7	74.2	56.5	72.0	68.0	71.6	59.1	83.3	75.0	73.9	56.5	66.7	57.6	73.8	64.3	42.9	28.6	85.7	57.1	71.4	65.7
	下落	8.1	11.5	3.4	5.1	9.7	12.9	0.0	0.0	12.5	18.2	4.8	6.0	4.3	8.7	21.2	30.3	0.0	0.0	42.9	57.1	0.0	14.3	11.4	8.6
総合判断	好転	8.5	13.2	5.1	10.2	11.3	12.9	4.0	8.0	10.2	17.0	6.0	8.3	8.7	8.7	18.2	30.3	14.3	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	2.9	11.4
	横這	53.4	39.7	52.5	44.1	45.2	32.3	68.0	48.0	55.7	39.8	52.4	42.9	39.1	26.1	54.5	30.3	57.1	50.0	71.4	28.6	71.4	42.9	54.3	40.0
	悪化	37.2	46.6	40.7	45.8	43.5	54.8	28.0	44.0	33.0	42.0	41.7	48.8	52.2	65.2	27.3	39.4	28.6	35.7	0.0	28.6	28.6	57.1	42.9	48.6
来期の 見通し	好転	6.8		6.8		8.1		0.0		8.0		6.0		4.3		12.1		9.5		0.0		0.0	0.0	5.7	
	横這	57.3		64.4		46.8		60.0		59.1		59.5		52.2		51.5		61.9		85.7		57.1	48.6		
	悪化	35.0		27.1		45.2		40.0		31.8		33.3		43.5		33.3		28.6		14.3		42.9	45.7		

## 令和元年度 第2回支部会

【第1・2合同支部】 12月17日 兆里



佐野屋産業(株)、(株)オプロ、則武化学(株)、  
(株)みづほ合成工業所、東海プラスチック工業(株)、  
ゴトープラスチック(株)、北川工業(株)

【第3支部】 12月2日 木曾路 錦店

(株)大喜プラスチック工業所、藤和ライト工業  
(株)、千代田合成(株)、瀬川化学工業(株)  
笠寺プラスチック工業(株)、(株)松栄工業所

【第8支部】 12月14日 川本

東洋理工(株)、(株)鈴木化学工業所、矢作産業(株)、  
(有)大和、吉良化成(株)、(株)ミワテック、(株)穴戸化  
成、(有)ヒット、(有)神本樹脂工業所、三喜ケミカ  
ル(株)、星和化成(株)、(株)原製作所、愛知実業(株)  
、(株)アイオー・エム

【第6支部】 12月6日 かに本家



名古屋燐寸(株)、和泉化成(株)、(株)タイセイプラス、  
(有)ウサミ化成、山勝工業(株)、(有)花井化成

【第7支部】 11月27日 笹戸C.C



名豊化成(株)、明和合成(株)、三光金型(株)  
(株)東郷製作所 (2名)、東郷産業(株)

 **フロー成形のスペシャリスト**  
**株式会社 タイセイプラス**

2018年よりロゴ変更と事務所機能を下記のとおり移転しました。  
【営業・総務 新事務所】

〒451-0051 愛知県名古屋市西区則武新町4-3-17  
加島ビル4F B号室  
TEL:052-462-9190 FAX:052-462-9221  
info@taisei-plus.co.jp

試作～量産までお問合せお待ちしております。  
東海、九州、東北、タイに拠点

 **Sumitomo**  
SHI **DEMAG**

 **住友重機械工業株式会社** プラスチック機械事業部

国内営業部 中部営業所  
〒465-0045 愛知県名古屋市名東区姫若町14-1  
営業：TEL.052-702-3801 FAX.052-702-3806  
サービス：TEL.052-702-3803・3802 FAX.052-702-3806

URL <http://www.shi.co.jp/plastics>

## 第69回愛知県職業能力開発促進大会

### 検定委員、講師ら表彰受ける

11月22日刈谷市総合文化センターにおいて第69回愛知県職業能力開発促進大会が開催され、技能検定・職業訓練校関係者が表彰を受けた。

この大会は、職業能力開発及び技能の重要性についての社会的認識を高めることを目的に、昭和26年から毎年開催されている。

技能検定委員永年勤続者として吉田康雄氏（原製作所）、水野茂氏（オプコ）、野々山浩司氏（豊和化成）の3名に愛知県職業能力開発協会から感謝状が贈られた。

また、職業訓練校から永年優良職業訓練講師として石川君雄氏、福田博行氏、訓練修了後5か年優良勤続者として、岩迫直弥氏（西浦化学）、



石川君雄氏

高橋誠也氏（山勝工業）、藤原貴信氏（松田電機工業所）の3名が愛知県職業能力開発協会会長表彰を受賞した。



吉田康雄氏

岩迫直弥氏（右から2人目）

## 葛谷喜信氏（中部日本プラ協会）が優勝

### プラス会 第279回例会

開催日 12月11日(水)

場所 スプリングフィールドゴルフクラブ

スタート 午前9時04分（イン）

参加者 21名

天候 曇り時々晴れ

気温 気温15.3℃

優勝 葛谷喜信氏（中部日本プラ協会）



優勝した葛谷喜信氏（右）

順位	会社名	氏名	OUT	IN	GRS	HC	NET
1位	中部日本プラ協会	葛谷 喜信	50	49	99	26	73
2位	㈱鈴木化学工業所	鈴木 啓之	46	46	92	19	73
3位	いその(株)	太田 茂	46	40	86	13	73
4位	(有)ウサミ化成	宇佐美教之	53	55	108	33	75
5位	㈱松井製作所	岡田 武史	51	63	114	36	78

### 告知板

#### 【会員代表変更】

▽賛助会員 川口鉄工(株)

代表取締役社長 川口豪康

#### 【訃報】

▽正会員 第4支部 マルエ産業(株)代表取締役  
山下繁雄様が12月25日ご逝去されました。

愛知県プラスチック成形工業組合が設立した  
従業員の皆様の豊かな老後の生活を守る

**愛知県プラスチック成形企業年金基金**

名古屋市中区新栄町2丁目13番地  
(栄第一生命ビル)  
TEL(052)953-8411  
FAX(052)953-8417

# 業界レポート

## [協会・組合の動向]

### ▼理事会

11月20日（名古屋市工業研究所） 32名

- (1)令和2年新年賀詞交歓会、組合創立55周年記念式典及び講演会の実施要領について、事務局より説明。審議の結果、全員一致で承認。
- (2)賛助会員に入会申込みの(株)東洋化学商会西日本販売名古屋支社について、審議の結果、全員一致で承認。
- (3)事務局より第69回愛知県職業能力開発促進大会があり、関係の受賞者一覧について説明、内2名は厚生労働大臣表彰と報告。
- (4)立木委員長より前期技能検定結果及び後期技能検定申請状況について報告。
- (5)その他、委員会、連合会、青年会、年金基金、事務局報告等。

12月18日（名古屋国際ホテル） 33名

- (1)令和2年度年間行事予定について事務局より資料に基づいて説明。審議の結果、原案通り全員一致で承認。
- (2)事務局より、第15回令和2年度優秀従業員表彰の実施要領、表彰規程について説明。審議の結果、全員一致で承認。
- (3)令和2年5月の役員任期満了に伴い、役員候補者選衡委員会の設置を全員一致で承認。
- (4)第56回永年勤続優良従業員表彰の収支について事務局より説明。
- (5)事務局より、令和2年新年賀詞交歓会、組合創立55周年記念式典及び講演会の次第について説明。
- (6)その他、委員会、連合会、青年会、年金基金、事務局報告等。  
〈終了後、役員年末懇親会を実施〉

### ▼新年賀詞交歓会

1月17日（名古屋国際ホテル）

〈詳細は本文記事を参照〉

### ▼総務委員会

12月18日（名古屋国際ホテル） 9名

(1)12月の理事会の審議案件について討議。

(2)その他。

### ▼文化広報委員会

12月9日（名古屋市工業研究所） 6名

- (1)第138号の反省と第139号（新年賀詞交歓特集号）の編集状況と第140号の企画、方針について検討。
- (2)その他。

### ▼技能検定委員会

12月16日（名古屋市工業研究所） 16名

- (1)後期技能検定射出3級の実技講習会、実技試験、採点会議の日程をきめた。
- (2)その他。

## [全日本プラスチック製品工業連合会]

### ▼第191回理事会

1月24日（第一ホテル東京）

- (1)本日実施の新年賀詞交歓会の概要と役割分担について
- (2)次の理事会は4/21大阪で、通常総会は6/4大阪千里で開催する。
- (3)その他。  
〈終了後、新春勉強会、新年賀詞交歓会、本文記事参照〉

### ▼技能検定推進委員会

11月29日（東京メトロポリタン）

児玉、立木、中島

- (1)15都府県22名出席。意見交換した。
- (2)その他。

### ▼中央技能検定委員会

11月18日（中央職業能力開発協会） 児玉委員

- (1)射出成形作業の問題作成

12月2日（中央職業能力開発協会） 児玉委員

- (1)随時2級の問題作成

12月20日（中央職業能力開発協会） 児玉委員

- (1)射出成形作業の問題作成

1月21日（中央職業能力開発協会） 児玉委員

- (1)射出成形作業の問題作成